

月刊 あったかいご通信

月刊「あったかいご通信」を発行する土地活用研究会は、地域密着の建設会社が福祉施設の開業をサポートする全国50社の国内最大級のネットワークです。毎月、業界の最新情報や成功事例をお届けします。業界全般の最新情報や経営のコツ、利用者募集や人材マネジメントなどリクエストも大歓迎です！

※記事引用 ・厚生労働省 ・国土交通省 ・㈱官公通信社 ・高齢者住宅新聞社 ・福祉新聞 ・日本経済新聞 他

令和2年12月号

【発行元】

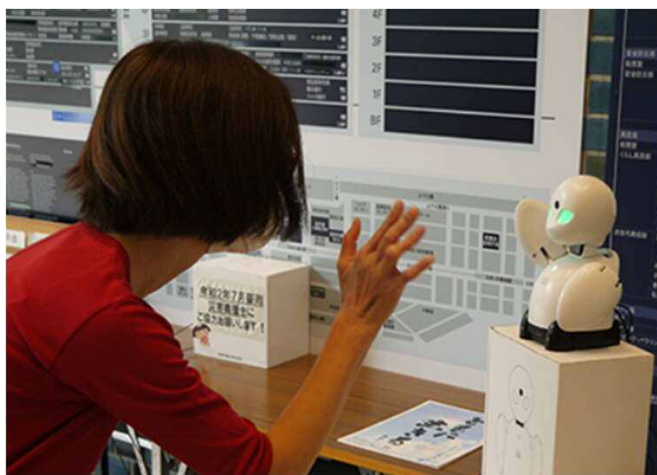
岐阜県福祉のまちづくり推進協議会
〒501-3246

関市緑ヶ丘2-5-78

TEL : 0120-337-301

FAX : 0575-24-5733

神奈川県が遠隔ロボット試行 障がい者が在宅で庁舎案内



神奈川県は9月29日、遠隔操作できるロボットを活用した、障がい者就労支援の試行実験を横浜市の県庁舎で始めた。ロボットの活用により、移動が困難な障がい者が在宅勤務できるようになることが期待される取り組み。県は、将来の障がい者の雇用創出に役立てたい考え。

県は、重度障がい者など外出・移動が困難な人が、さまざまな形で社会参加できる環境を整備するため、オリィ研究所と今年3月に連携協定を締結。今回の実験は、同社の開発したロボット「OriHime（おりひめ）」を活用した。

三重県DWATが誕生 要配慮者の避難生活を支援



大規模災害時に避難所で、高齢者や障がい者ら要配慮者の生活支援などに当たる災害派遣福祉チーム（DWAT）の発足が全国で進んでいる。全国社会福祉協議会によると、8月末現在、今夏に発足したばかりの三重県を含む31府県でDWATが設置されている。

東日本大震災を機に全国に広がり、2016年の熊本地震や18年の西日本豪雨などで活動。厚生労働省は18年5月に「災害時の福祉支援体制整備ガイドライン」を作成し、組織化を促している。